

# 平成23年度 小松市決算のあらまし



## 財政のすがたを明解に

市の財政のしくみは、複雑でことばも難しく、決して分かりやすいとはいえません。そこで、私たちに身近なサービスのために「どのようにお金が使われているのか」、  
「小松市の財政はどのような状態なのか」を市民の皆さんに知っていただくために、平成23年度の小松市の決算の情報をもとに、分かりやすく説明します。



## 平成23年度決算の特徴

景気動向の影響などから市税収入の低迷が続きましたが、防災対策の強化や全国11番目となる環境王国認定、里山自然学校大杉みどりの里の整備などの事業を行いました。  
また、課題となっている市債残高については、市債発行総額の抑制や繰上償還などを行い、全会計の市債残高を約30億円圧縮しました。

## もくじ

1年間でいくらお金を使ったの？	．．．．	1ページ
何にお金を使ったの？	．．．．	2ページ
一般会計の内訳は？	．．．．	2ページ
主な収入の内容は？	．．．．	3ページ
主な支出の内容は？	．．．．	4ページ
支出の分野別の使い道は？	．．．．	5ページ
特別会計・企業会計の内訳は？	．．．．	7ページ
借金はいくらあるの？	．．．．	8ページ
小松市の財政の水準は？	．．．．	9ページ

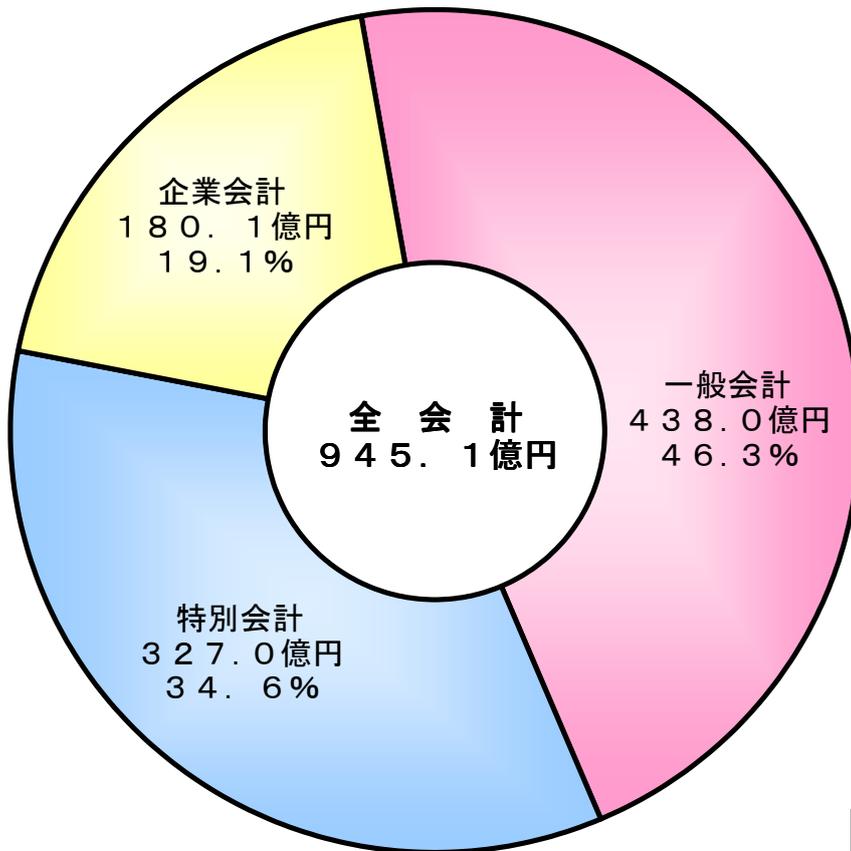


小松市イメージキャラクター『カブッキー』





## 1年間でいくらお金を使ったの？



市民1人当たり  
874,033円

### メモ

小松市全体では945.1億円のお金が使われました。これを平成24年3月31日現在の小松市の人口108,134人で割ると、**市民1人当たり874,033円**のお金が使われたこととなります。

平成22年度決算に比べて市全体では 約36.6億円の減少となりました。

芦城小学校改築や広域斎場建設が完了したことや、市営川辺町住宅建替事業費の減少が主な原因です。

なお、市の会計は、仕事の目的や種類によって、大きく3つに分かれています。

[一般会計] … 税金などを使って、福祉、教育、道路や公園の整備、ごみ処理など、市の基本的な仕事をする会計。

[特別会計] … 国民健康保険、介護保険、農業集落排水など、特定の事業をするために、一般会計とは別に、保険料や使用料などの特定の収入によって運営する会計。平成23年度は小松市には8会計ありました。

[企業会計] … 水道や公共下水道、病院、民間企業のように料金収入などで運営する会計。平成23年度、小松市には3会計ありました。

行政の仕事は広範多岐にわたるので、特定の事業の会計を分けることによって収支を明確にしています。

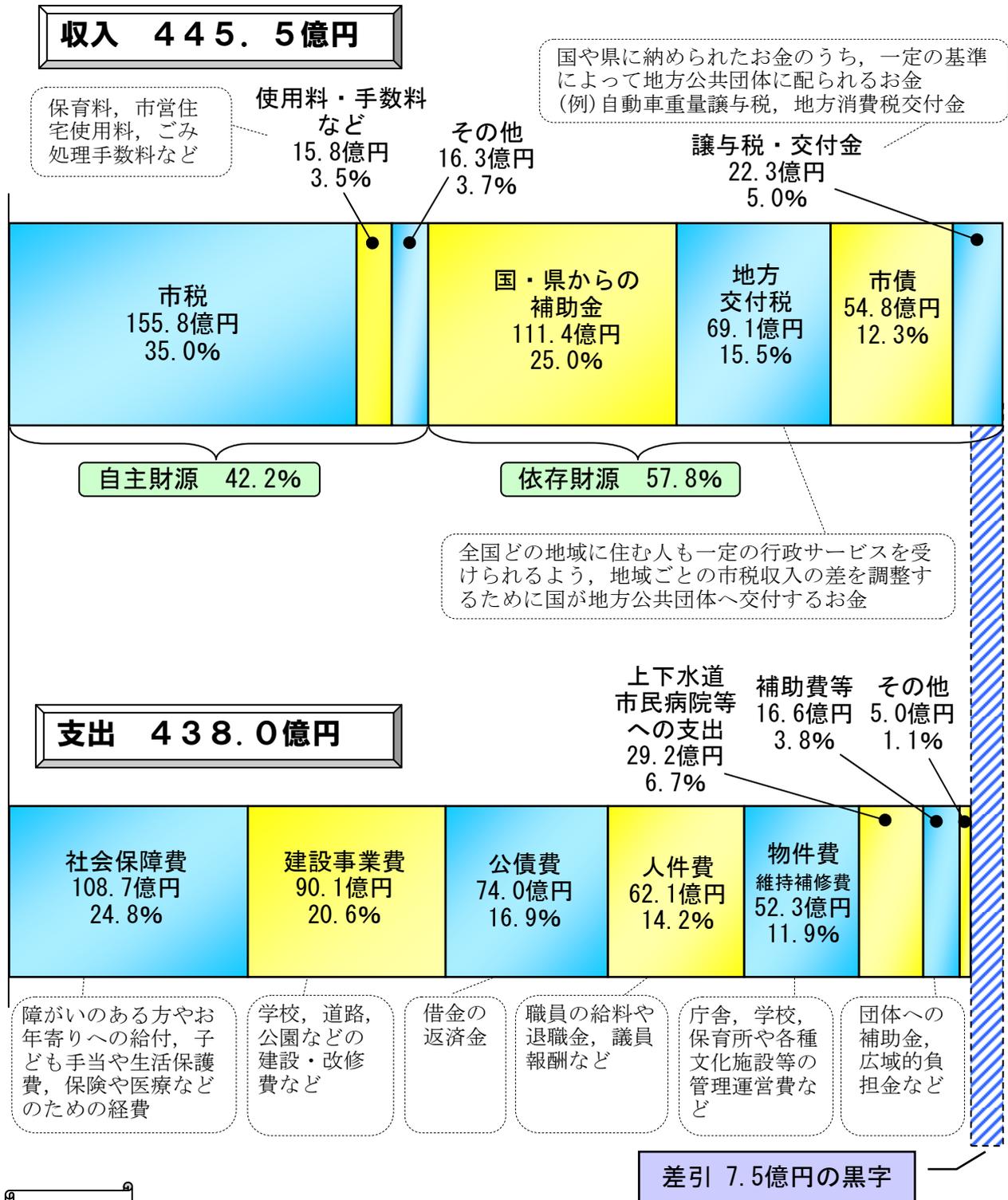
一般会計の内訳は ⇒ 2ページへ

特別会計・企業会計の内訳は ⇒ 7ページへ



# 何にお金を使ったの？

## 一般会計の内訳は？



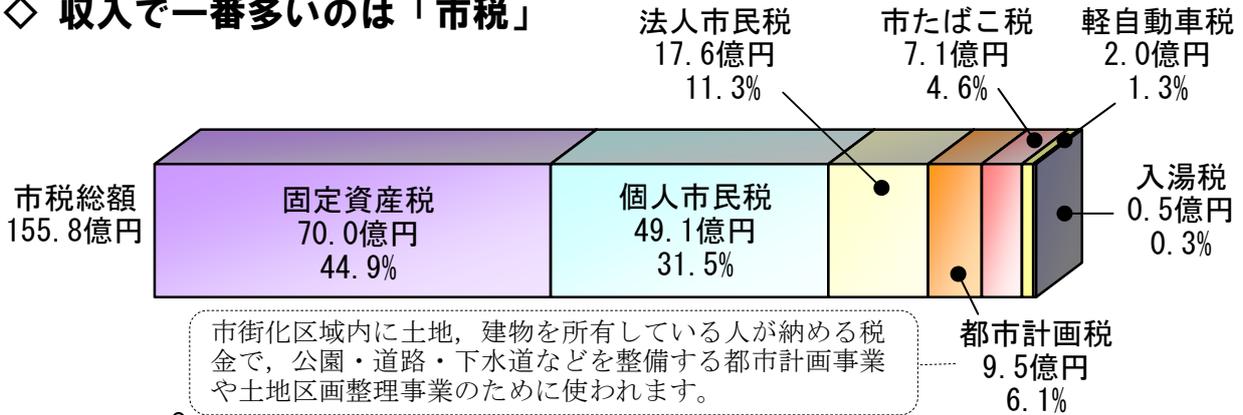
## メモ

収入から支出を差し引いた形式的な収支は7.5億円の黒字となっていますが、そのうち1.5億円は、平成23年度中に終わらなかった事業を翌年度に繰り越して使うため、その分を差し引いた実質的な収支は6.0億円の黒字となります。



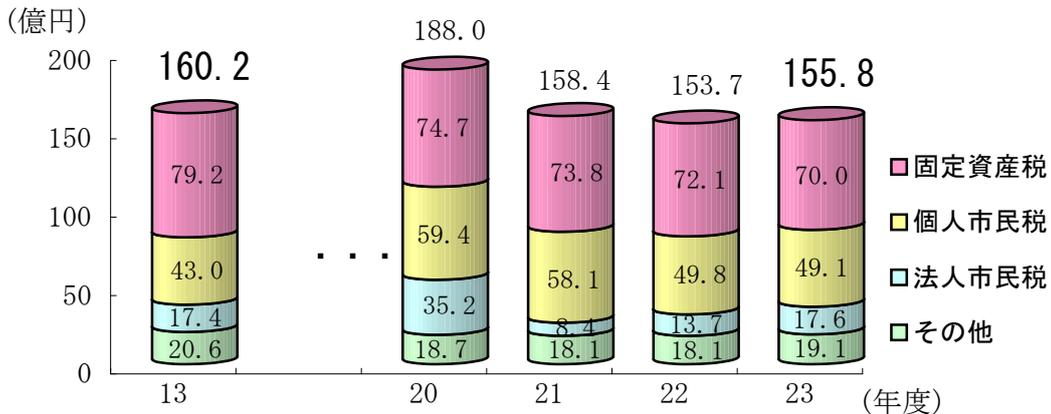
# 主な収入の内容は？

## ◇ 収入で一番多いのは「市税」



### メモ

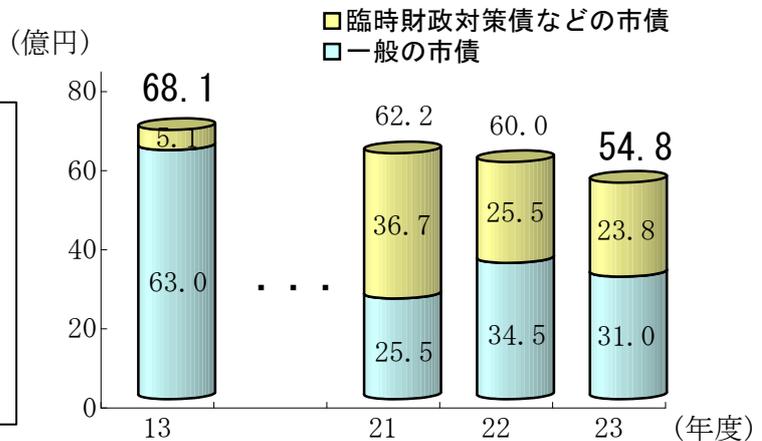
収入の中で一番大きな割合を占めているのは市税です。土地評価などの影響により、固定資産税が減少したものの、法人市民税や市たばこ税が伸びたことから平成22年度と比べると2.1億円増えました。下のグラフは、10年前と直近4年の市税の状況を示しています。平成20年度の市税総額は180億円を超えていましたが、景気後退の影響を受け、平成21年度以降は10年前以下の水準まで落ち込んでいます。



## ◇ 借金(市債)の借入は減少

### メモ

1年間に借金(市債)をする額は10年前に比べ、近年は減少しています。平成23年度の市債発行総額は60億円を下回りました。借金(市債)残高を減らすため、新たな借金の抑制に取り組んでいます。

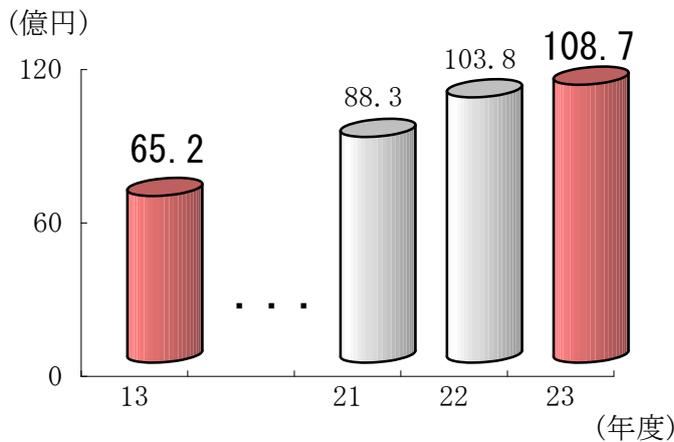
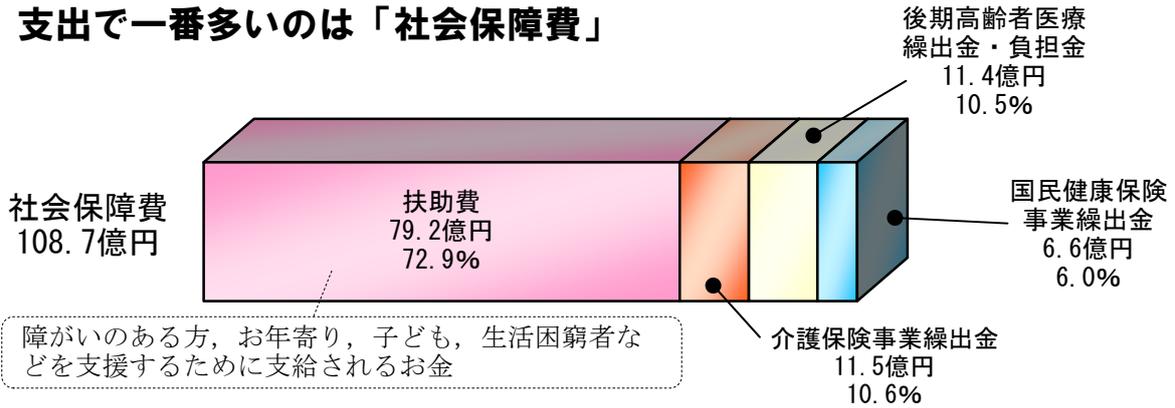


[臨時財政対策債]…本来、国から地方交付税としてもらえるはずのお金について、国の予算不足の穴埋めとして市が発行する借金



# 主な支出の内容は？

## ◇ 支出で一番多いのは「社会保障費」



**メモ**

平成23年度の社会保障費は、平成22年度と比べ4.9億円の増加となり、年々増え続けています。

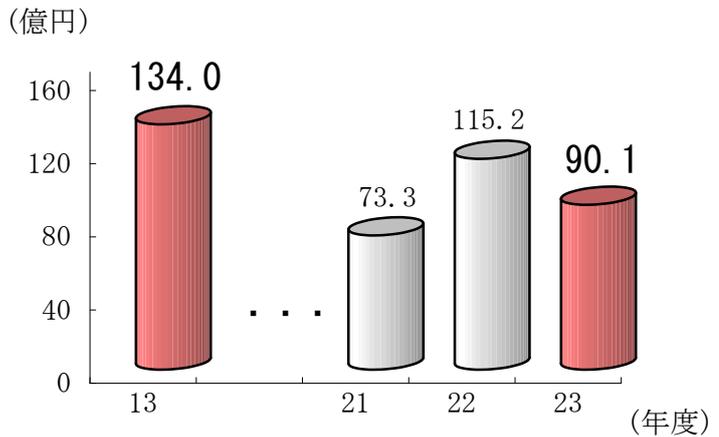
平成23年度は保育料の引き下げ、幼稚園・保育園への看護師配置など子育て支援の充実を図りました。

少子化、超長寿化が進む中、10年前と比べると約1.7倍にまで増加しています。

## ◇ 「建設事業費」は減少

**メモ**

平成23年度は第一小学校、安宅小学校、御幸中学校の学校改築や小中学校の耐震化事業、防災行政無線の整備などを行いました。

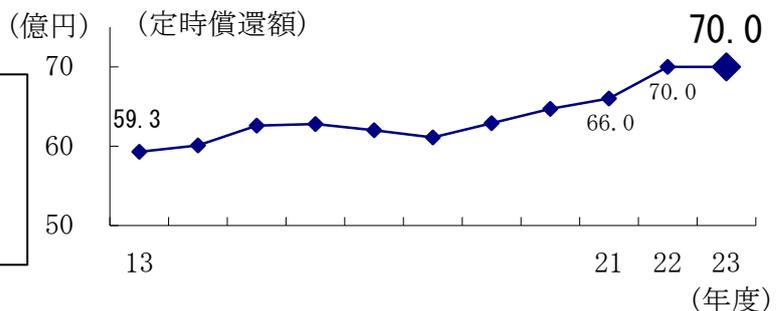


## ◇ 借金の返済（公債費）は高い水準のまま

**メモ**

平成23年度は前年度と同じ70億円となりました。

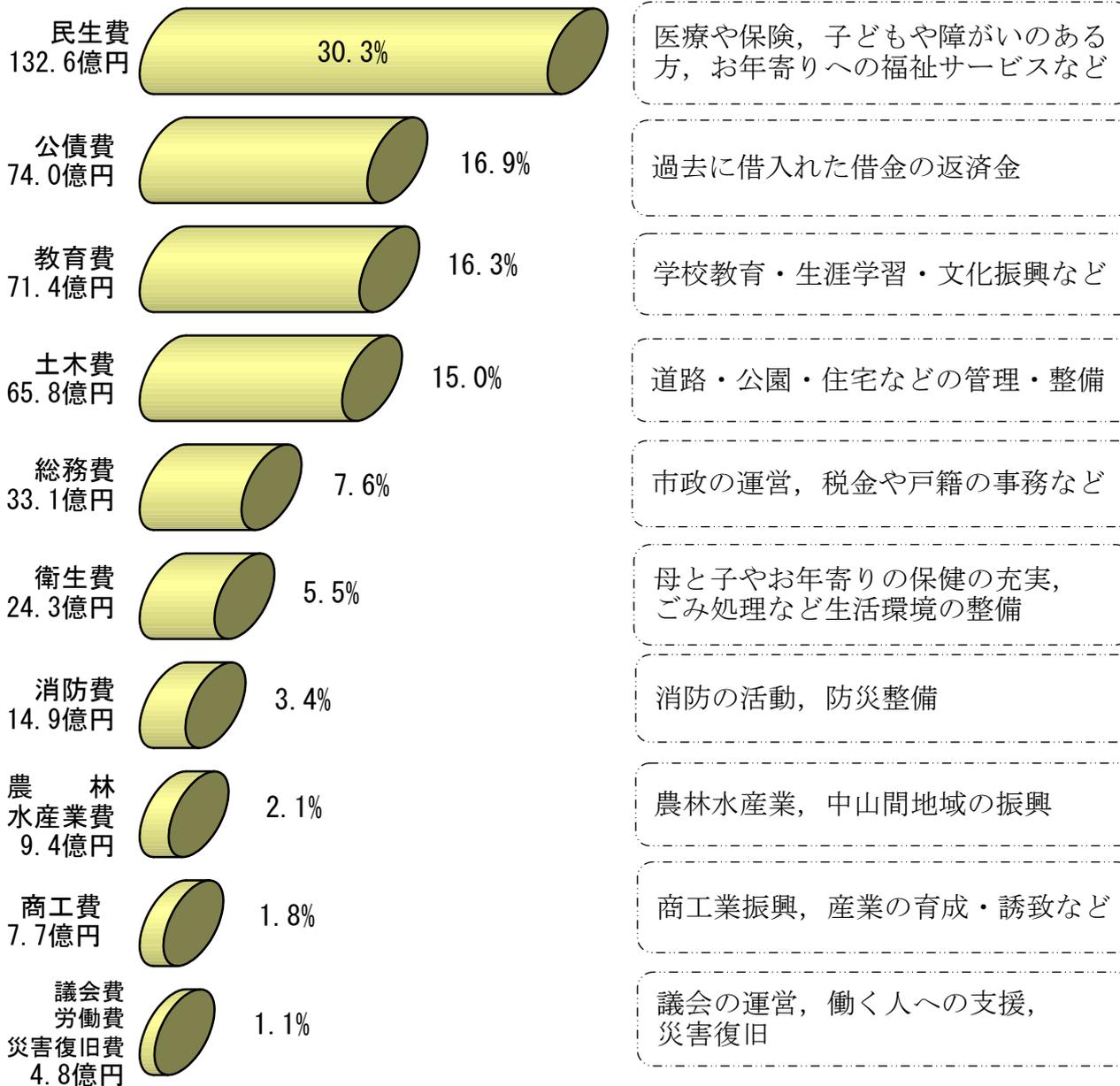
ここ数年は返済のピーク期となっています。





## 支出の分野別の使い道は？

支出 438.0億円



### メモ

分野別では，福祉にかかる経費である「民生費」に一番多くのお金が使われており，全体の約30%を占めています。  
 主な使い道は，保育所の運営，子ども手当の支給，障がいのある方やお年寄りの施設入所費などです。

**1位** 民生費 132.6億円 (122,669円) ↓

- ◆ 保育所の運営 37.7億円
- ◆ 子ども手当や子育て支援など 27.3億円
- ◆ 障がい者支援事業、施設入所費、障がい者手当など 15.1億円
- ◆ 介護保険事業への繰出金など 12.6億円
- ◆ 後期高齢者事業への繰出金など 11.7億円
- ◆ 生活保護の支給 8.5億円
- ◆ 国民健康保険事業への繰出金など 6.6億円
- ◆ 障がい者・小児医療費の助成など 5.3億円
- ◆ 老人福祉のための事業 3.6億円
  - ・ 老人ホーム入所費、在宅支援など

**2位** 公債費 74.0億円 (68,421円) ↓

- ◆ 借金の返済(市債の定時償還) 70.0億円
- ◆ 将来負担の軽減(市債の繰上償還) 4.0億円

**3位** 教育費 71.4億円 (66,057円) ↓

- ◆ 小・中学校の改築、耐震化など 33.3億円
- ◆ 小・中・高等学校の管理 13.8億円
- ◆ 図書館・博物館の運営など 10.1億円
- ◆ 体育施設の運営・整備など 4.8億円

**4位** 土木費 65.8億円 (60,843円) ↓

- ◆ 公共下水道事業への繰出金 20.2億円
- ◆ 道路や河川の管理、整備 16.3億円
- ◆ 公園や街路などの都市計画事業 13.2億円
- ◆ 市営住宅の管理や建設 8.0億円
- ◆ 飛行場・基地周辺対策 6.7億円
  - ・ 基地周辺道路の整備など

**5位** 総務費 33.1億円 (30,623円) ↓

- ◆ 職員人件費や市庁舎の管理など 21.8億円
- ◆ 広報の発行、国際交流事業など 5.9億円
- ◆ 税金の収納事務や戸籍事務など 3.9億円
- ◆ 県議会議員、市議会議員選挙 1.0億円

**6位** 衛生費 24.3億円 (22,490円) ↓

- ◆ ごみ処理などの環境対策 9.3億円
- ◆ 市民病院への繰出金 6.7億円
- ◆ 健康診断や予防接種など 5.4億円
- ◆ 水道事業への繰出金 0.8億円
- ◆ 斎場・墓地の管理・整備 0.8億円

**7位** 消防費 14.9億円 (13,809円) ↗

- ◆ 消防団活動、救急車など消防施設の整備、防災対策など

**8位** 農林水産業費 9.4億円 (8,672円) ↓

- ◆ 農業の振興、6次産業化の推進など 7.0億円
- ◆ 林道の管理や整備、造林など 2.2億円

**9位** 商工費 7.7億円 (7,089円) ↗

- ◆ 商工業の振興 2.5億円
- ◆ 融資などの金融対策 2.3億円
- ◆ 観光の振興 1.5億円

**10位** 議会費・労働費・災害復旧費 4.8億円 (4,371円) ↗

- ◆ 市議会の運営 4.5億円
- ◆ 労働者団体や就労の支援など 0.1億円
- ◆ 農業、林業施設災害復旧 0.2億円

※ 矢印は対前年度増減を示す

※ ( ) 内は、市民1人当たりの支出額を示す

市民1人当たりの支出額 = [各分野の決算額] ÷ [平成24年3月31日現在の人口 108,134人]



## 特別会計・企業会計の内訳は？

特別会計（8会計）

（単位：億円）

会計名	収入	支出	差引	事業内容
国民健康保険	110.39	110.39	-	自営業者や退職者などの医療保険
介護保険	85.28	84.99	0.29	施設介護，在宅介護等の保険
後期高齢者医療	10.23	10.04	0.19	広域連合による75歳以上の医療保険
交通災害共済	0.01	0.01	-	交通災害見舞金の支給
簡易水道	0.30	0.30	-	小集落への給水事業
農業集落排水	4.11	4.11	-	農業集落の汚水処理施設管理・整備
工業団地造成	9.08	9.08	-	串地区工業団地の分譲
公債管理	108.12	108.12	-	借金の返済管理
合計	327.52	327.04	0.48	

企業会計（3会計）

（単位：億円）

会計名	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
水道	24.70	24.07	0.63	0.81	7.60	▲ 6.79
公共下水道	27.03	31.28	▲ 4.25	25.79	35.63	▲ 9.84
市民病院	71.26	67.24	4.02	11.19	14.29	▲ 3.10
合計	122.99	122.59	0.40	37.79	57.52	▲ 19.73



### 企業会計のしくみ

企業会計には2つの財布があります。

[収益的収支] … 事業を運営するために1年間にかかった経費と収入を管理する財布。事業の黒字・赤字はこの財布の中身を見れば分かります。

[資本的収支] … 事業の運営とは別に，施設の建設や設備投資の収支をやりくりする財布。借金の借入・返済もこの財布で管理しています。

このほかに，企業会計には**内部留保資金**というものがあります。内部留保資金とは，純利益や現金支出の伴わない費用から生じるものです。

上の表では，資本的収支が赤字になっているように見えますが，**不足分は内部留保資金で補っています。**

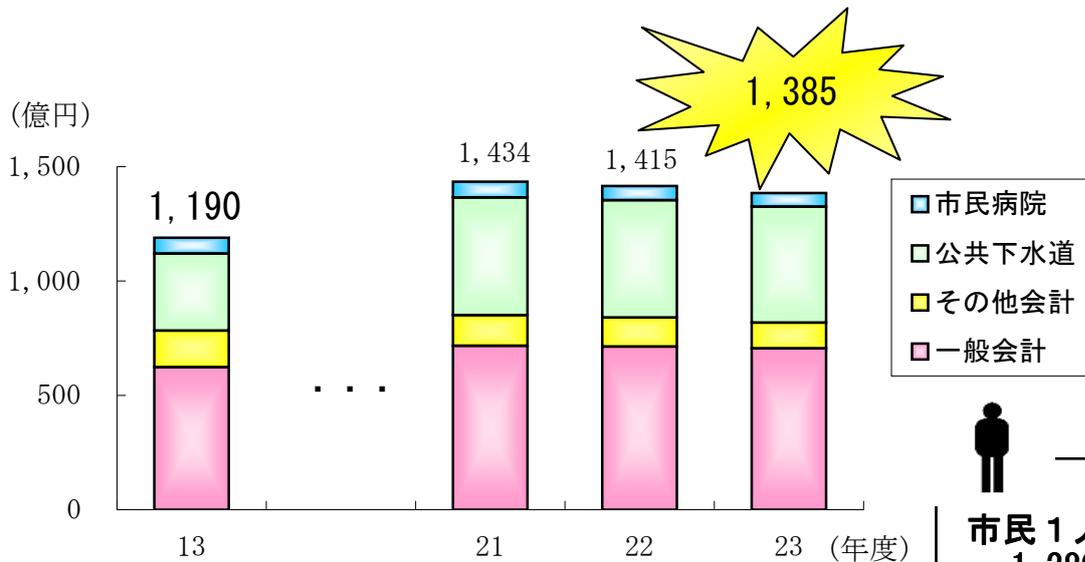


## 借金はいくらあるの？

小松市の借金（市債）の残高は、これまで増え続けてきましたが、市債発行の抑制や借金の繰上返済を行ったことなどにより、平成22年度以降は減少に転じています。

平成23年度は、市債残高を約30億円圧縮し、全会計の残高は約1,385億円となりました。

平成23年6月に策定した10年ビジョンでは、平成21年度から10年間で市債残高を200億円圧縮することを目標にしています。



## 実質公債費比率って何？



実質公債費比率とは、標準財政規模（市税などの経常的な収入）に対する公債費（借金の返済金）の割合で、数値が大きいほど借金返済の負担が重いことをあらわしています。通常は3ヵ年の平均値を使用します。

道路の整備や公共下水道など、これまで進めてきた社会資本整備のための借金の返済がピーク期を迎えたことで、実質公債費比率は平成21～23年度の3ヵ年平均で18.5%となり、前年度より0.3ポイント増加しました。

実質公債費比率は下記の方法で算定されます。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{公債費}) - (\text{地方交付税で補てんされる額})}{(\text{標準財政規模}) - (\text{地方交付税で補てんされる額})}$$

※公債費とは、一般会計の公債費に公営企業の公債費への一般会計繰出金や一部事務組合の公債費への負担金などの公債費類似経費を加えたものです。

- [18%未満の団体] … 県知事との協議により市債を発行
- [18%以上の団体] … 県知事の許可を受けて市債を発行
- [25%以上の団体] … 「早期健全化団体」となり、「財政健全化計画」の策定が義務付け
- [35%以上の団体] … 「財政再生団体」となり、「財政再生計画」の策定が義務付け



# 小松市の財政の水準は？

平成23年度の普通会計決算を、全国の類似団体や県内11市と比べてみましょう。

○類似団体：人口と産業構造（産業別就業人口の構成比）により、同じ区分に分類された都市。平成23年度の類似団体は、小松市を含めて20団体。

佐野市(栃木県)、桐生市(群馬県)、青梅市(東京都)、白山市(石川県)、各務原市(岐阜県)、富士宮市・焼津市(静岡県)、瀬戸市・半田市・刈谷市・江南市・小牧市・東海市(愛知県)、桑名市(三重県)、彦根市(滋賀県)、守口市・大東市・門真市(大阪府)、新居浜市(愛媛県)、小松市

○普通会計：地方公共団体ごとに会計の分類が異なる場合があるため、一定の基準で比較できるようにした、統計上の会計区分

## 市民1人当たりの支出額

小松市	404,480円	小松市の順位
類似20都市平均	345,317円	第3位
県内11市平均	481,162円	第9位

## 市民1人当たりの借金残高

小松市	652,348円	小松市の順位
類似20都市平均	308,898円	第2位
県内11市平均	675,518円	第6位

## 財政力の強さ（財政力指数）

小松市	0.702	小松市の順位
類似20都市平均	0.880	第18位
県内11市平均	0.549	第3位

### ※財政力指数

必要な財源をどれだけ自力で調達できるかを表す指数。数値が大きいほど財政力が強い。

## 収入に対する借金返済の割合（実質公債費比率）

小松市	18.5%	小松市の順位
類似20都市平均	7.8%	第1位
県内11市平均	14.4%	第1位

### ※実質公債費比率

収入額のうち借金の返済に使った金額の割合。数値が大きいほど借金返済の負担が重い。

## 財政の弾力性（経常収支比率）

小松市	91.4%	小松市の順位
類似20都市平均	88.6%	第7位
県内11市平均	91.2%	第6位

### ※経常収支比率

市税などの経常的な収入に対する経常的な経費の割合。数値が大きいほど財政の弾力性が低い。

## 収入に対する借金残高の割合（将来負担比率）

小松市	208.5%	小松市の順位
類似20都市平均	54.9%	第1位
県内11市平均	112.7%	第1位

### ※将来負担比率

収入額に対する市債などの負債残高の割合。数値が大きいほど将来支払う負債の残高が多い。

## 類似団体と比べると…

小松市は、類似都市や県内11市と比較して、収入に対する借金返済の割合を表す実質公債費比率、借金残高の割合を表す将来負担比率は非常に高い水準となっています。

今後はまちを発展させ、税収を確保するとともに無駄を無くすことで、借金を減らしていくことが重要な課題です。

## もっと詳しく 知りたい方は…

小松市HPの組織別案内（財政課）のページをご覧ください。

[発行]平成24年10月 小松市総合政策部財政課  
〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地  
TEL：0761-24-8144（直通） FAX：0761-24-8190  
メール：zaisei@city.komatsu.lg.jp  
HP：http://www.city.komatsu.lg.jp/zaisei/index.html

